

## 釜川を歩く～後編①～

7月2日(土)に、中流(釜川橋)から田川の合流部分まで歩きました。☀️

中流から下流にかけては街中を流れており、  
モニュメントなどもあり変化に富んでいました。  
そのため、数回に分けてご紹介いたします。



前回ゴール地点・上戸祭の「釜川橋」から出発。



水道橋付近では、釜川に流量を持たせるため、  
護岸工事に凝灰岩の川床を削って深くしてありますが、  
残った岩盤がきれいに露出しています。



下戸祭地区の橋は花の名がつけられています。

あさがおばし、さつきばし、すみればし・・・など。  
川岸に親水公園もあります。

しばらく行くと、旧兜橋になります。  
今は、橋はありませんが、  
水門と山本町の田川まで続く地下水路があります。



豪雨で増水した時に釜川から溢れる水量を  
田川に放流する仕組みになっています。🌧️



下野新聞社北西にある西塙橋の傍には、湧水ポイントがあります。

岩を丸くうがった中から下の池に流れ込むようにしつらえてあります。



かつて『池辺乃郷(いけのべのさと)』とも  
『宮に七水八池在り』とも称された豊かな水環境の地であった  
宇都宮なのだから、貴重な水資源を大切にしたいものです。

まだまだ続きますが、  
本日はここまで・・・。